

総社商工会議所会報

第 648 号

毎月20日発行
1部刊 50円



発行所 総社商工会議所 〒719-1131 岡山県総社市中央6丁目9-108 電話(0866)92-1122 FAX(0866)93-9699 総社商工会議所 検索

商工会議所は企業、地域にとっての「気軽な相談窓口」

新年度
スタート!

企業への支援をはかりながら企業とともに 地域活性化を推進します!!



このような状況のなか、企業・地域にとっての「気軽な相談窓口」としての役割を意識し、企業支援や地域振興に努め、中でも管内

「人手不足」という大きな課題に直面するなか、当商工会議所としては情報収集・発信を行い、「人材確保支援サービス事業」や「総社市が推進する雇用対策事業」などの活用とあわせ、効果が生まれるよう支援に努めてまいります。
また、総社市の魅力を高めることは不可欠であり、岡山市と倉敷市の双方で進められている「連携中核都市圏ビジョン」や「吉備線LRT化基本計画（素案）」の動向に注視し、経済団体という立場から、総社市が真に豊かな街として発展するよう努めてまいります。

基本方針（抜粋）

3月28日（火）、総社商工会館401会議室において、第109回総社商工会議所通常議員総会が出席議員55名（内委任状出席13名）のもと開催され、平成29年度事業計画案、一般会計・特別会計収支予算書案等を審議、原案通り可決承認されました。

通常議員総会を開催

3 / 28

「総社市中小企業振興特別委員会（市・市議会）（顧問）・商工会議所3者で平成24年4月発足」において、情報の共有と相互理解をはかりなが

柱となる当商工会議所独自の「高度専門家中小企業支援制度（そうじや高支援）」による売上向上への支援、「専門家派遣制度」による課題解消への支援、いずれも専門家と職員が連携する伴走型支援により推進するほか、各種補助金制度の活用支援、金融面への支援にも注力し、さらに創業塾の開催やその後のサポートにより、減少傾向にある商工業者の増加に努めてまいります。

企業の70%を占める小規模事業者への支援は重要であり、平成27年度後半から取り組む「伴走型小規模事業者支援推進事業」に基づく支援を行い、企業の持続的発展をめざします。また、昨年からはじめた「会議所交流サロン」は、会員相互をつなぐ場として、また会員と職員がつながる場として、最大の効果が生まれるよう企画運営に努めてまいります。

「We Love 総社」運動の推進、カルピスを使用した「当地カクテル（PEACH SOJA）」の普及、昭和60年2月に愛称として付けられた会議所前道路「会議所通り」の周知などにより、総社地域の魅力度アップと当商工会議所のブランド力の向上に努めてまいります。また、税制等諸制度の改善については、最大の効果が生ずるよう国をはじめとする行政、関係機関に対して適宜要望を行ってまいります。

当商工会議所の中核であり執行部である役員・職員をはじめ、青年部・女性会・事務局が一体化を図りながら、「気軽な相談窓口」として会員をはじめ管内企業への支援や地域活性化へ最大限の努力を行ってまいります。

ら、全市民の見地から地元企業への支援につながるよう事業を進めることや「人（労働者・後継者・定住者）」をテーマとした支援事業に取り組んでまいります。
次に、地域活性化事業として、県立博物館（県立ミュージアム）の誘致活動を関係機関との連携をはかりながら、吉備路の魅力と誘致への熱意を伝え粘り強く展開することや、平成27、28年度に取り組んだ「パンわーど総社事業」については、総社市を全国に発信する事業として、推進してまいります。

会員事業所への支援

自助努力を続ける会員事業所への支援事業を推進する。

- 「伴走型小規模事業者支援推進事業」に基づく支援 ※H27.11認定
- ◇「高度専門家中小企業支援制度（高支援）」による売上向上への支援
28年度の相談実績 相談企業15社、相談件数22件
- ◇「専門家派遣制度（各種相談日）」による困りごと・課題解消への支援（財務、労務、雇用、人材育成、IT活用、事業承継など）
28年度の相談実績 相談企業174社、相談件数471件
- ◇経営計画・事業計画策定、および創業計画策定への支援
- 小規模事業者の継続的発展をはかるための支援
- マル経融資・経営力強化資金（認定支援機関）など金融面における支援
- 講習会・勉強会による知識・資質向上への支援、各種検定試験の紹介
- ◇ホームページ、会報・商工ニュースによる情報発信
- ◇ビジネスモールの活用促進

支援サービスの詳細は、HPをご覧ください。

県立博物館（県立ミュージアム）誘致の推進

粘り強く誘致活動を推進し、総社地域の熱意を伝えていく。

アピールポイント

- ① 大規模災害に備え、県財産を守るためにも総社市への誘致が最適!
- ② 多額の建設費を考慮し収蔵品の数に応じ、増改築を行うのも一つの案!
- ③ 総社市美術館（構想）との相乗効果で、入館者の安定確保が見込まれる!

詳しくは2面をご覧ください。

重点事業

魅力あるまちづくり

総社市の魅力は、何といても住みやすさ。気候風土や立地面などの魅力を活かしたまちづくりを観光振興とあわせ、行政との連携により推進する。

- 「総社ドッグ」、「パンわーど総社」、「PEACH SOJA」事業による話題づくり
- 「We Love 総社」の推進（Made in Sojaの発掘・PR、季節共有による郷土愛の創出、地元製造品の紹介）
- 総社ブランド確立の推進
- 連携中核拠点都市圏構想（岡山・倉敷両市）への協力
- 吉備線LRT化に関する情報の収集
- 企業誘致への支援
- 地域資源を活かした観光事業の推進



昨年8月に行われた参加店によるパンわーど総社事業発表会の様子

組織基盤の強化

「気軽な相談窓口」の定着をめざし組織基盤の強化をはかる。

- 役員・議員、青年部、女性会、事務局の一体化
- 「会議所交流サロン」の開催 ※年3～4回



昨年11月に開催した第2回会議所交流サロンの様子

「パンわーど総社Facebook」で情報発信中!



「総社商工会議所ホームページ」をご覧ください。ツイッターでもつぶやいています。

総社商工会議所 検索

